



新中期経営計画 JGP2025

2022年3月期～2026年3月期

2021年5月18日

株式会社日本製鋼所
代表取締役社長 宮内 直孝

【ご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

PART I

JGP2020の振り返りと
事業環境認識

5

PART II

新中期経営計画
「JGP2025」

10

PART III

セグメント別
事業方針

19

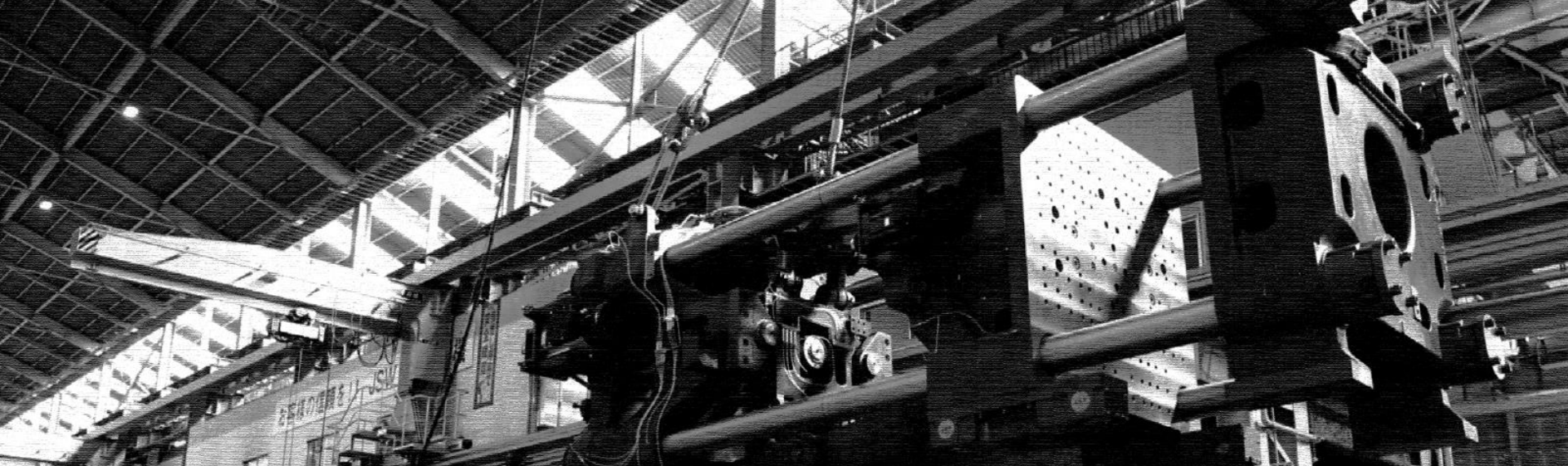
PART IV

ESG経営の
推進

30

事業セグメントの構成と主要製品

事業セグメント	産業機械事業			素形材・エンジニアリング事業		その他事業			
事業組織	樹脂機械事業部、成形機事業部、産業機械事業部、特機本部			日本製鋼所M&E		新事業推進本部			
生産拠点	<p>広島 横浜 名古屋</p> 			室蘭					
製品	<p>【樹脂製造・加工機械】</p> <ul style="list-style-type: none"> 造粒機 フィルム・シート製造装置 二軸混練押出機 アフターサービス  <p>【成形機】</p> <ul style="list-style-type: none"> プラスチック射出成形機 マグネシウム射出成形機 中空成形機 アフターサービス  <p>【その他産業機械】</p> <ul style="list-style-type: none"> エキシマレーザーアニール(ELA)装置 防衛関連機器 鉄道製品 ホットプレス ラミネータ 成膜装置 アフターサービス 			<p>【鍛鋼品】</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応容器部材 (シエル、ヘッド他) 蒸気発生器部材 ローター軸 タービンケーシング 金型用鋼 製鉄用圧延ロール  <p>【クラッド製品】</p> <ul style="list-style-type: none"> クラッド鋼板 クラッド鋼管  <p>【エンジニアリングサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> プラント・インフラ鋼構造物及び工事 非破壊検査・分析検査サービス 水素蓄圧機・水素吸蔵合金タンク 		<p>【新事業】</p> <p>フォトニクス 複合材料 金属材料</p>			
市場	石油化学	産業機械	自動車	IT	防衛	電力・鉄鋼	石油・天然ガス	自然エネルギー	新事業



JGP2020の振り返りと 事業環境認識

PART I



JGP2020 3つの基本方針

1

経営資源の最適化とアライアンスの強化

成果

- プラスチック加工機械コンプレックスの拡大
(株)ジーエムエンジニアリングの子会社化／ニチユマシナリー(株)・(株)名機製作所の吸収合併
- 素形材・エンジニアリング事業を分社（日本製鋼所M&E(株)設立）
- 月島機械(株)との協業開始
- JX金属(株)との合併会社設立

2

アフターサービス（ストック型ビジネス）の強化

成果

- 日本、欧州に部品センターを開設
- サービス専用工場の建設
- リモートメンテナンスの運用開始

3

新事業探索、育成の活性化

成果

- 水素関連ビジネスの事業化、日本製鋼所M&E(株)への移管
- フォトニクス、複合材料、金属材料の3つの事業分野への絞り込みを決定

継続課題

- プラスチック加工機械
コンプレックス化の更なる推進
- 現有製品の競争力強化
- プラスチック加工機械に続く
新たな中核事業の創出
- 素形材・エンジニアリング事業の
継続的な利益の確保
- 新事業の早期収益事業化

事業環境認識と当社事業の機会・リスク

気候変動・自然災害・
感染症

プラスチックごみの
海洋投棄問題

脱炭素化の加速

再生可能エネルギーの
普及

国際社会・
経済の分断化

5Gの普及

DXによるビジネスの
変革

リモートワークの普及

消費の多様化

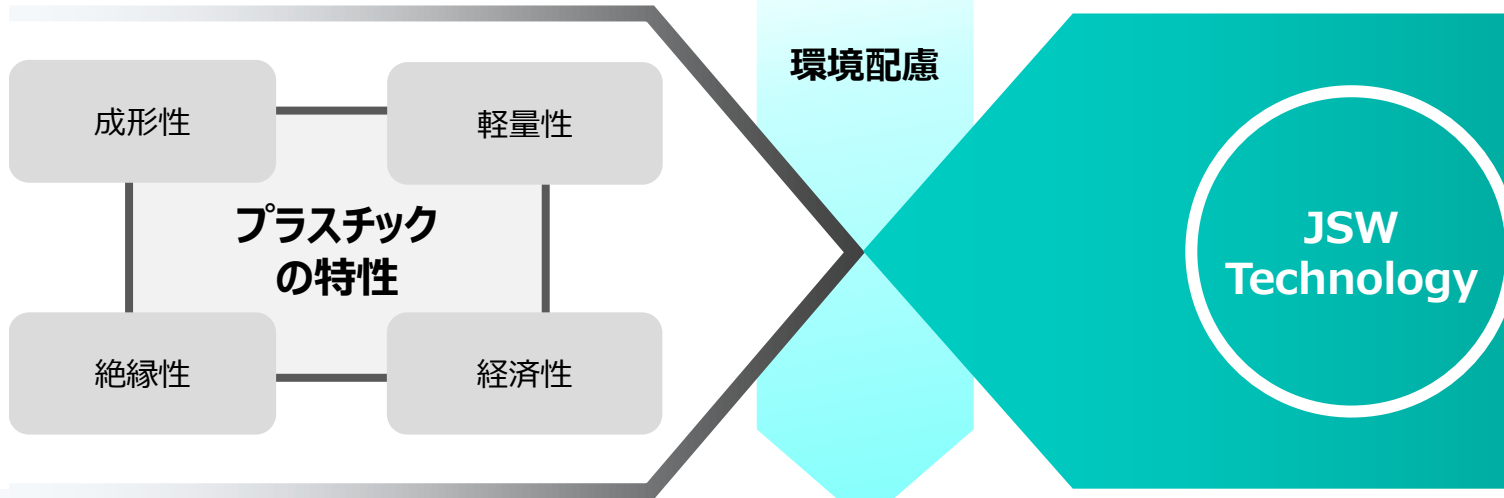
機会

- EV車の市場拡大
- 生分解性プラスチックの台頭
- 5Gインフラ投資の本格化
- AI/IoT技術の進展
- 新興国を中心とした消費の拡大

リスク

- 脱プラによるプラスチック加工機械の需要低下
- 脱炭素化による火力発電やOil&Gas関連の投資抑制
- 全固体電池の普及によるセパレータフィルム需要の縮小

プラスチック総合加工機械メーカーとしての環境対応



プラスチック総合加工機械メーカーとして培ってきた技術力を進化させ
環境面に対処すべき課題を解決
社会のあらゆる領域で不可欠なものづくりを支え続ける

※環境への取り組みは
P.32,33に記載



IT



家電製品



自動車関連



食品包装



医療関連

当社が培ってきた強み

丈夫なもの、壊れないもの、
良いものをつくるという
「ものづくり企業のDNA」

Technology
技術力

高い技術力と専門性を
背景に新技術を確立し、
新たな市場を拓く

Innovation
イノベーション力

どのような時代にも
変わらない強みで
新たな顧客ニーズを
創り続ける

Prescience
先見力

時代の流れを的確に見抜き、
前例のない分野にも果敢に
取り組む

**THE FIRST
ENGINEER**
(常に最先端にチャレンジ)



新中期経営計画 「JGP2025」

PART II



目指すべき企業像とミッション

目指すべき企業像

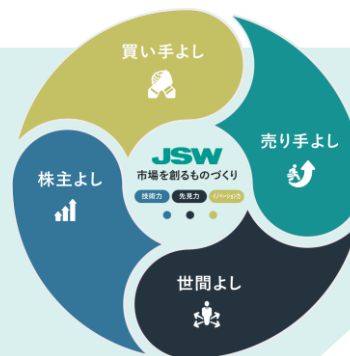
独創技術で変化を創り出し
社会の発展に貢献する企業

経営理念

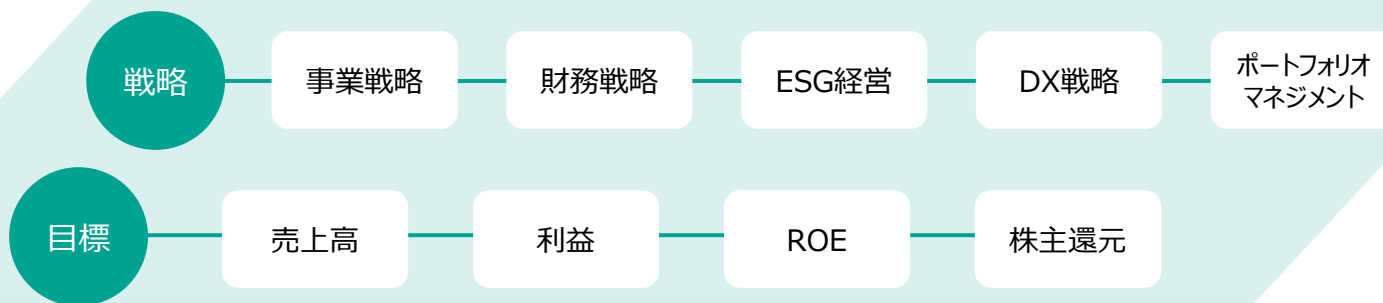
1. 顧客に驚きと感動を与え続ける。
2. 社会との共生を図り、
継続的に利益を実現する。
3. 変わり続ける意識を持つ。

MISSION

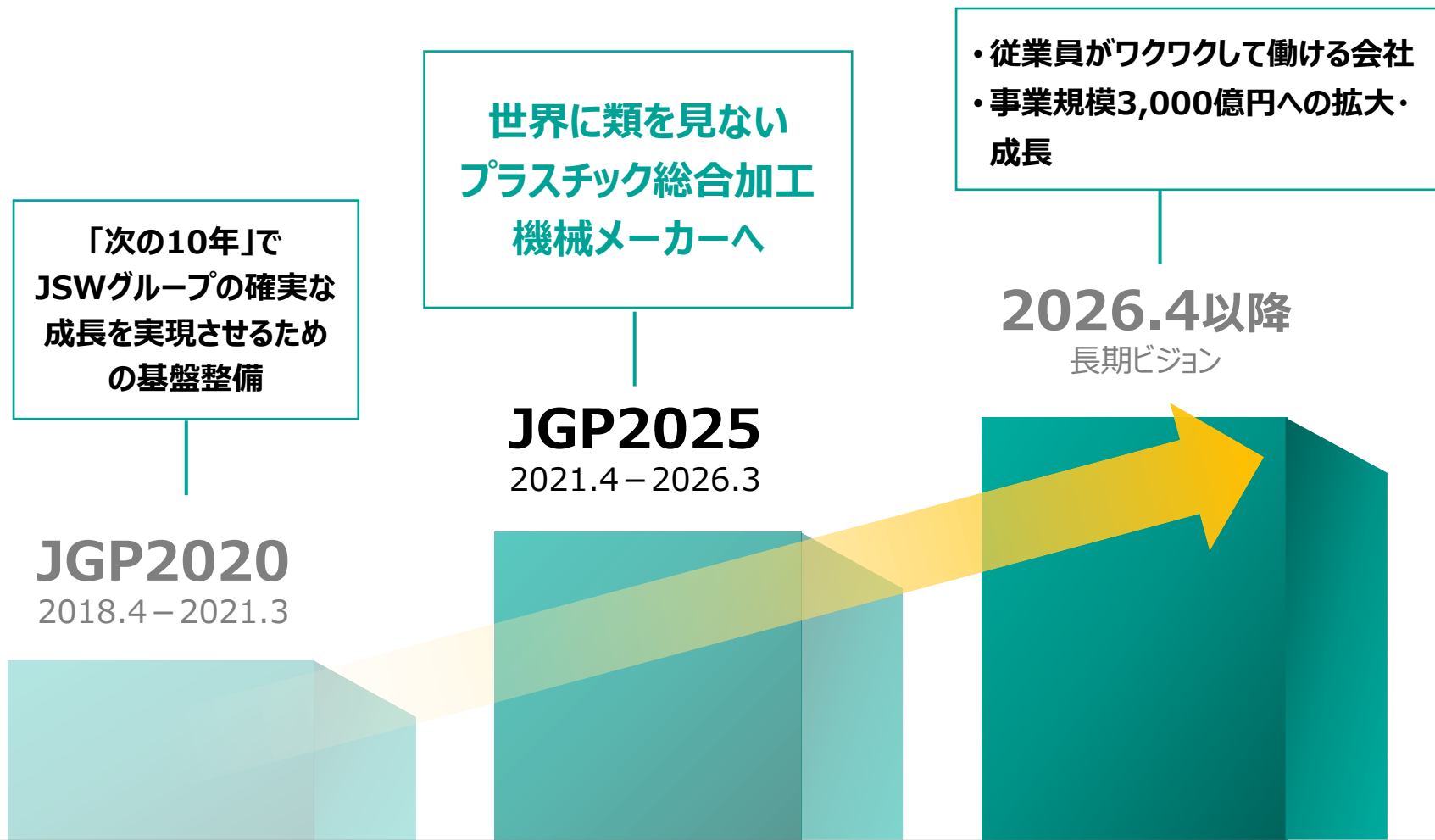
「ものづくり」と「価値づくり」で
持続可能な成長を目指し、
「四方よし」の精神で社会に貢献する

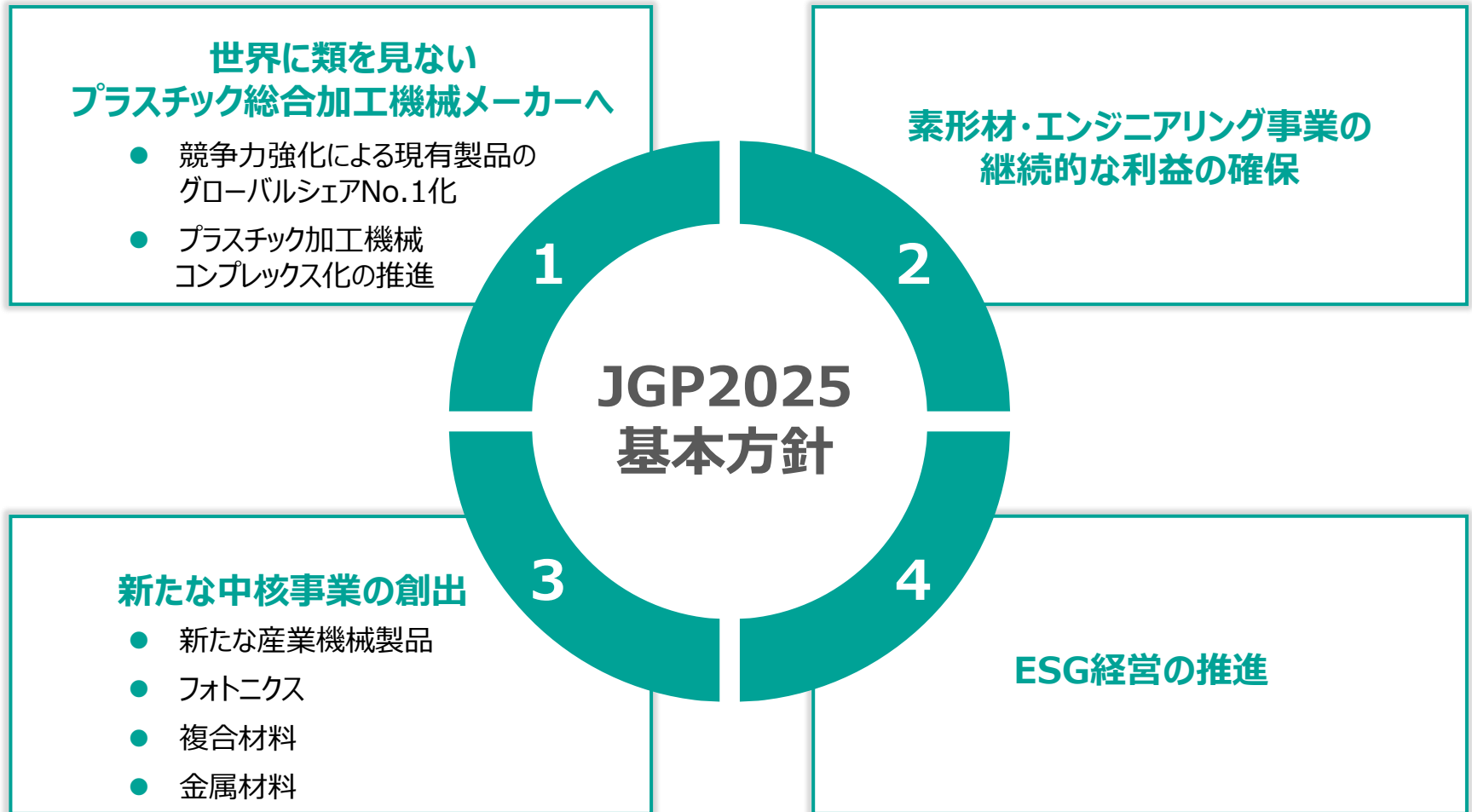


中期経営計画 JGP2025



新中期経営計画「JGP2025」の位置づけ





「JGP2025」数値目標（連結）

2025年度
2026/3期

売上高
2,700億円

営業利益
270億円

ROE
10%

	2019年度 実績	2020年度 実績	2023年度 計画	2025年度 計画	2019年度比
売上高	2,175億円	1,980億円	2,500億円	2,700億円	+ 24%
営業利益	187億円	102億円	200億円	270億円	+ 44%
営業利益率	8.6%	5.2%	8.0%	10.0%	+ 1.4PP
ROE	7.2%	5.1%	8.5%	10.0%	+ 2.8PP

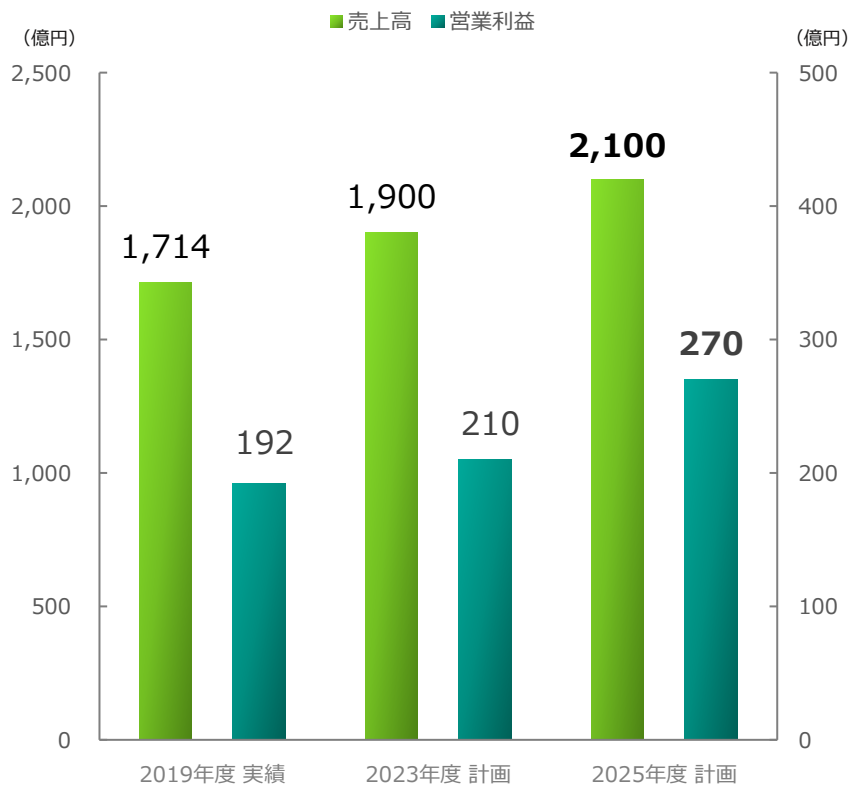
「JGP2025」数値目標（セグメント別）

産業機械事業

樹脂製造・
加工機械

成形機

その他産業機械

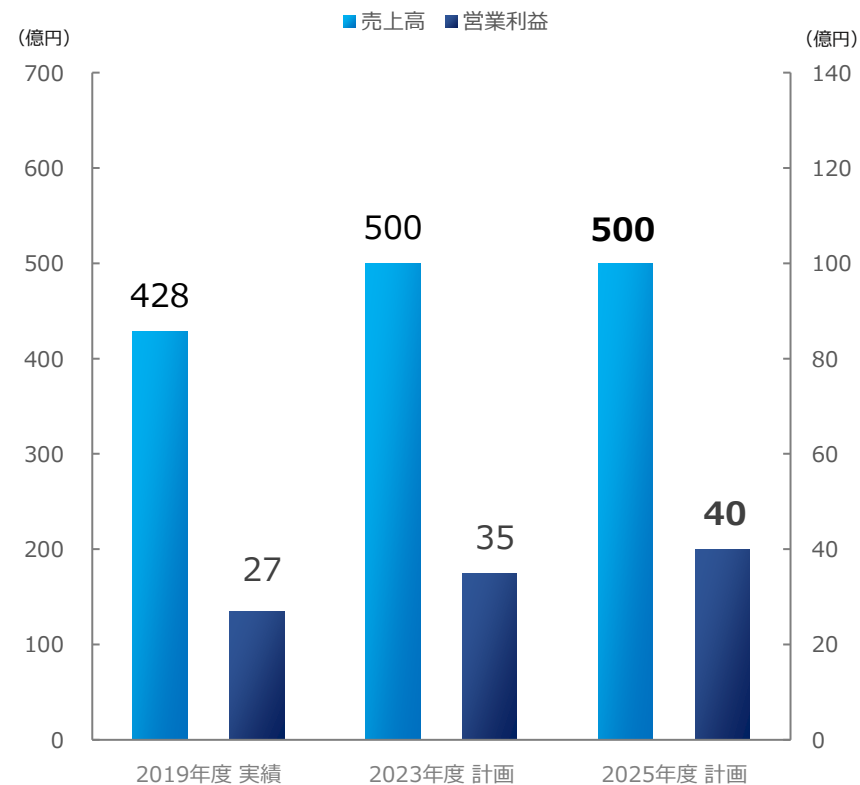


素形材・エンジニアリング事業

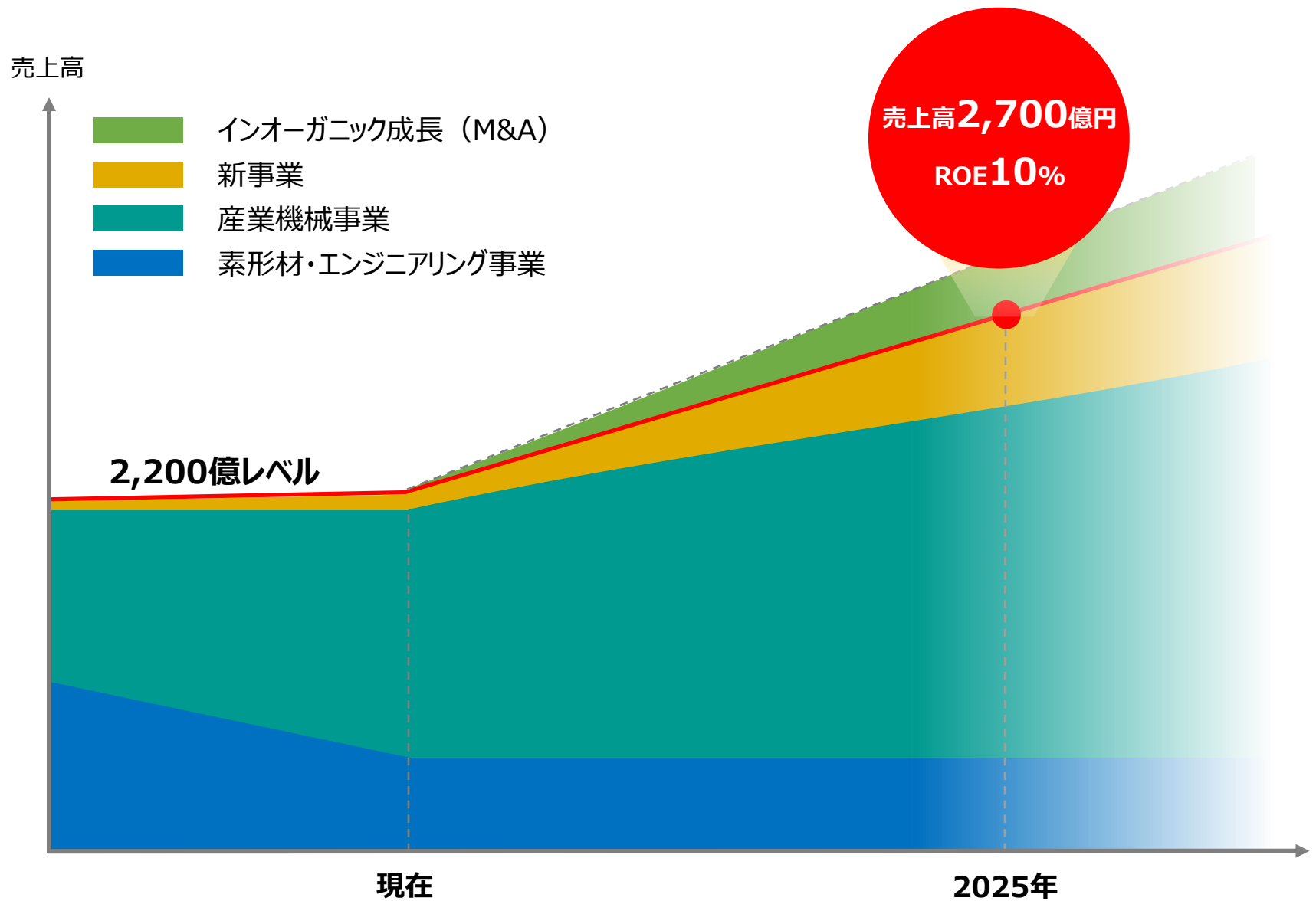
鍛鍛鋼品

クラッド
鋼板・鋼管

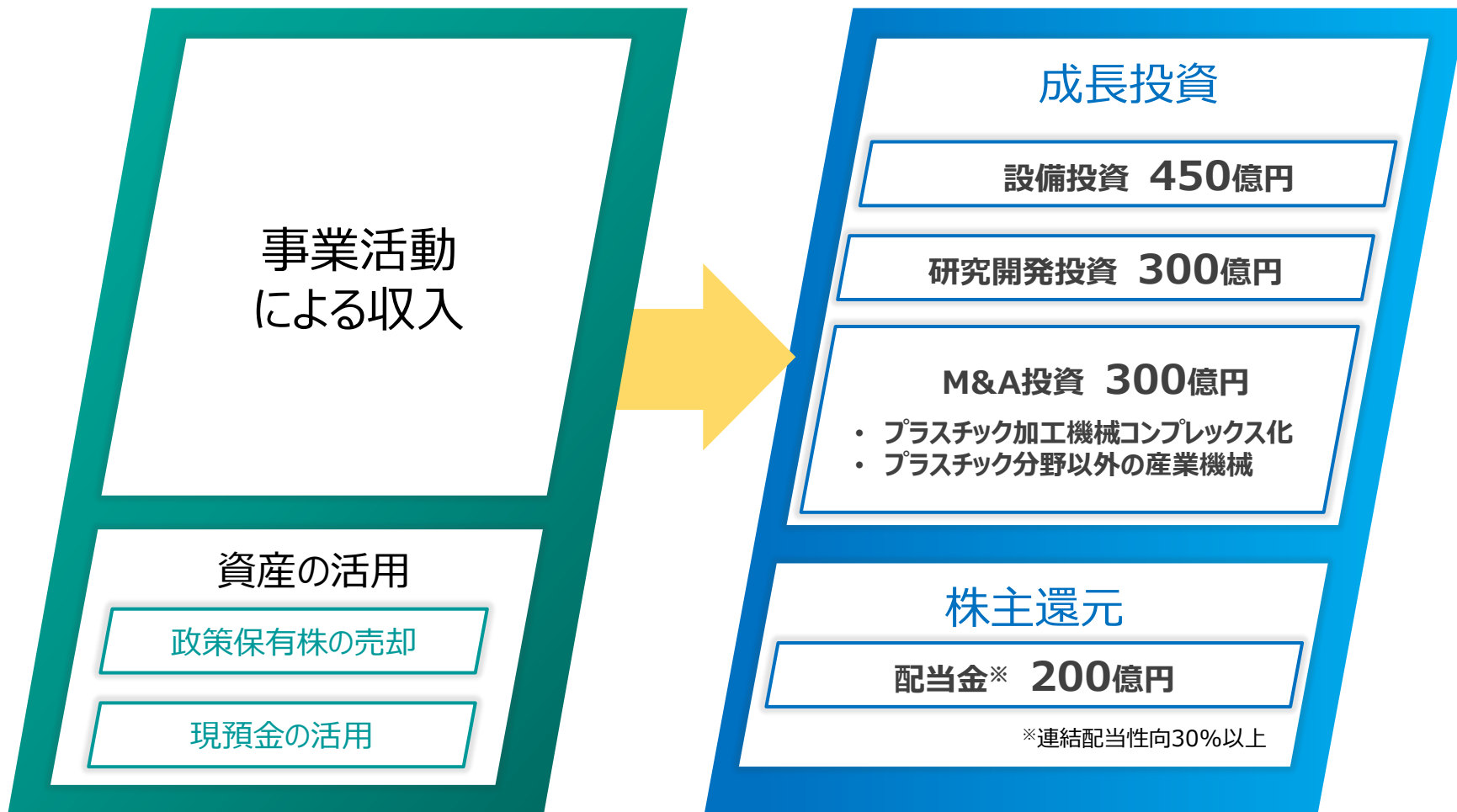
エンジニアリング
サービス他



今後の成長イメージ



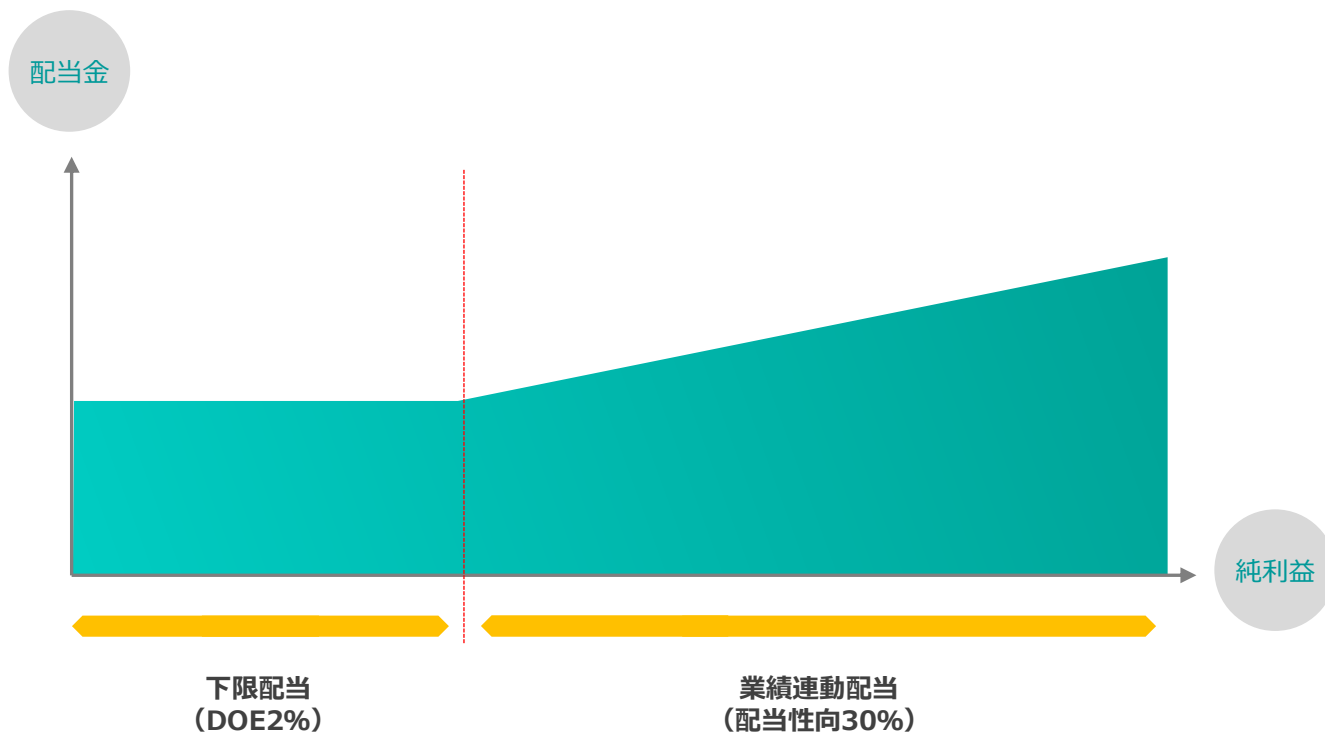
持続的な企業価値向上を目的に、
成長投資と株主還元の適切なバランスを確保



JGP2025期間中 配当方針

「連結配当性向30%以上」を目標とした上で、
「DOE(連結株主資本配当率)2%」を下限に配当を実施

■ 配当方針のイメージ





セグメント別事業方針

PART III



セグメント別事業方針

セグメント	サブ・セグメント	事業方針
産業機械事業	樹脂製造・加工機械	現有製品の競争力強化、プラスチック加工機械コンプレックス化、サービス事業の拡大により、中核事業として成長を牽引する
	成形機	生産能力の拡大と重点地域の販売強化により、グローバルトップ5を目指す
	その他産業機械	ELA装置を中心とした既存製品を拡大すると共に、プラスチック加工機械に続く中核事業を創出する
素形材・エンジニアリング事業	鋳鍛鋼品	生産体制の強化とコストコントロールを徹底し、継続的に利益を確保する
	クラッド鋼板・鋼管	
	エンジニアリングサービス他	
新事業		3つの分野に絞り込んだ上で、早期の収益事業化を実現する

JSWの中核事業として成長を牽引



重要施策

1. 現有製品の競争力強化

(1) 造粒機

好調な中国市場を中心とした更なるシェア拡大

(2) 二軸混練押出機

中国・東南アジアを中心とした海外展開の強化

(3) フィルム・シート製造装置

セパレータフィルム用装置の高品質化対応の強化

ポストセパレータを見据えた5G関連フィルム等の成長分野への注力

2. プラスチック加工機械コンプレックス化

M&Aを活用した新たな製品の取り込みと育成

3. アフターサービス事業の拡大

中国・欧州におけるサービス体制の拡充

サービス専用工場を活用した短納期化・顧客ニーズの充足

プラスチック加工機械コンプレックス化を更に推進

ポリマー重合リアクター（石油化学プラント）

プラスチックの基礎原料を造る

基礎原料に付加価値を加える

造粒機

二軸混練押出機

④ SM Platek (韓国) を子会社化

フィーダ

スクリーン
チェンジャー

振動篩、乾燥機

カッティング、
冷却機器

ギアポンプ

形に

フィルムに

⑤ 名機製作所を
完全子会社化

射出成形機

中空成形機

② タハラを
子会社化

① 三菱重工業
より事業買収

フィルム・シート製造装置

③ 日立プラント
メカニクスより
事業買収

無延伸フィルム
装置

同時延伸
フィルム装置

逐次延伸
フィルム装置

シート装置

シート成形機

巻取機

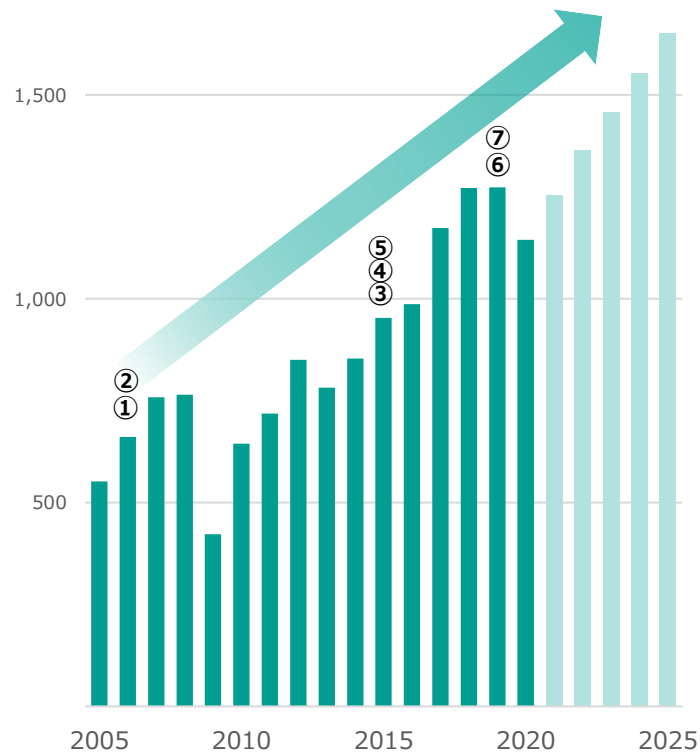
紡糸押出機

異形・チューブ用
押出機

⑦ ニチユマシナリー
を子会社化

プラスチック加工機械 売上高

(億円)
2,000



グローバルトップ5を目指す

重要施策

1. プラスチック射出成形機

(1) グローバル生産体制の最適化と生産能力の拡大

広島製作所：

小型機を中心とした生産能力、国内外への供給能力の拡大

名機製作所：

超大型機と特殊機の生産拠点としての能力拡大

海外生産拠点：

中国・米国での生産拡大と欧州での生産開始

(2) 重点地域における販売強化

日本、米国、中国、東南アジア、欧州

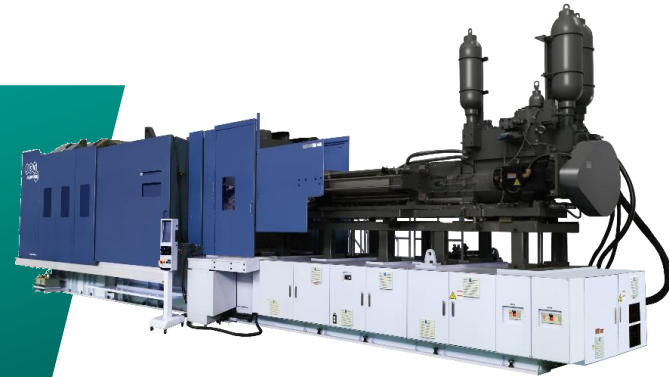
2. マグネシウム射出成形機

自動車分野への超大型機の販売拡大

3. 中空成形機

中国を始めとするアジア地域での事業拡大

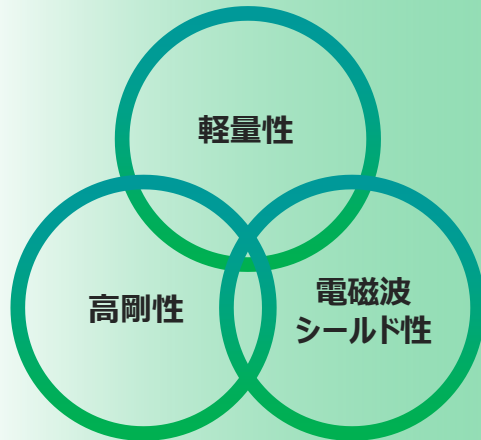
- ◆ 自動車の大型部品分野におけるマグネシウム成形品への期待が高まる
- ◆ 成形機本体の販売に加え、子会社で自動車用大型部品を製造することにより、同分野におけるマグネシウム成形品の採用を後押しする



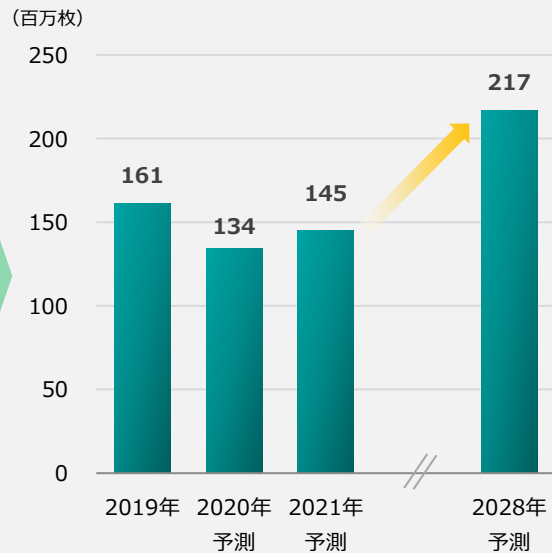
マグネシウム合金射出成形機 JLM1300MGII

マグネシウム合金の優れた特性

自動車の軽量化や環境負荷低減に貢献する素材として世界的に需要が拡大

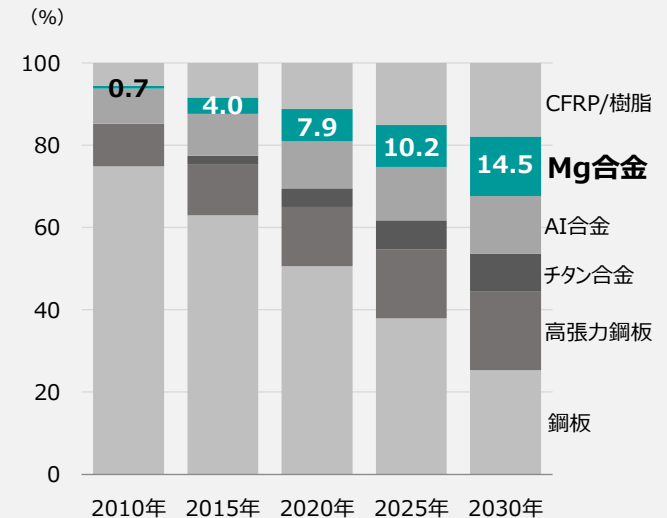


車載用ディスプレイ世界市場規模予測



出典：矢野経済研究所「車載用ディスプレイ世界市場に関する調査を実施（2020年）」
 <https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/2521> を元に当社作成

自動車生産に使用される素材



出典：Vehicle Technologies Program: Goals, Strategies, and Top Accomplishments (米国エネルギー省) のデータをもとに、経済産業省が作成したものを抜粋・加工

既存事業の拡大と新製品・新分野の開拓

重要施策

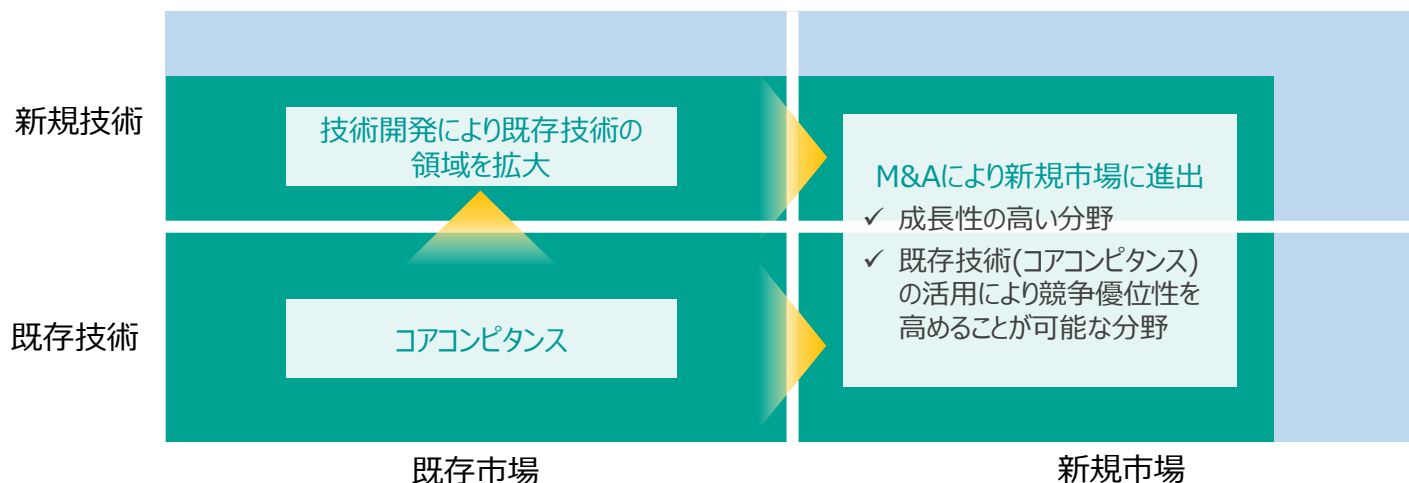
1. ELA（エキシマレーザーアニール）装置事業の再構築

ELA装置本体の製造・販売とアフターサービスの一体化による
事業体制の強化

差別化技術による中国市場の攻略

2. 新たな産業機械製品の取り込み

コアコンピタンスを活用した、成長性・将来性のある新規市場への進出



継続的な利益の確保に向けた体制の強化と変革



重要施策

1. 鋳鍛鋼品

付加価値の高い機能性材料の取り込みによる収益拡大
中小型製品・量産品の生産体制確立による受注拡大

2. クラッド鋼板・鋼管

工場変動費・固定費の圧縮による操業負荷変動に強い
生産体制の構築

3. エンジニアリングサービス

水素関連製品の製品競争力の強化による海外展開
国土強靱化政策に対応したプラント・インフラ溶接構造物
の取り込み
独自技術を活用した検査サービス事業の拡大

総合的なエンジニアリングサービス提供力を活用し、素形材・エンジニアリング事業の中核として育成



水素関連製品

次世代のエネルギーとして注目されている水素の蓄圧器や水素吸蔵合金タンクの製造

検査サービス

一般的な非破壊検査から最新の検査手法を用いたプラント設備の検査まで



総合建設

機械修繕からプラント工事、建築、土木工事まで幅広い分野に対応



Engineering Service

メンテナンス

圧力容器、鍛圧機器、風力発電設備のメンテナンス
溶接補修／保全提案／材料評価・寿命評価



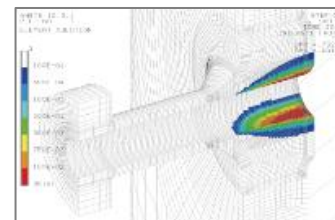
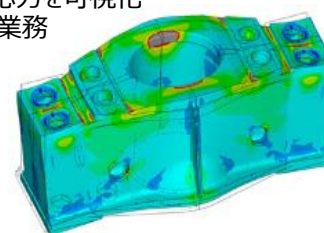
溶接構造物

産業用や橋梁部材など、様々な分野での溶接構造物の製造



解析業務

製品に作用する応力を可視化・数値化する解析業務



早期の収益事業化を推進

フォトニクス 事業室

JSWアフティ(株)

ECR成膜装置・ALD装置などの成膜装置

ファインクリスタル(株)
ファインクリスタルいわき(株)

人工水晶やニオブ酸リチウム結晶、窒化ガリウム結晶の育成・加工



情報通信・5G

複合材料 事業推進室

JSW室蘭グループ°

CFRP複合材料他による民間航空機向け部材等の製造

JSW広島

自動車分野等モビリティ向け複合材料の製造



モビリティ

新素材

金属材料 事業推進室

室蘭銅合金(株)

銅合金その他各種金属新素材の製造



情報通信・5G

デジタル技術の活用



今後の戦略

- ① 保守支援の効率化として、リモート指導／リモートメンテナンスを拡大
- ② 新たなサービスの提供として、二軸押出機の自動運転、フィルム製造装置の自動条件調整を展開
- ③ JSW製品の寿命予知・予防保全に適用できるAIアルゴリズムを開発中



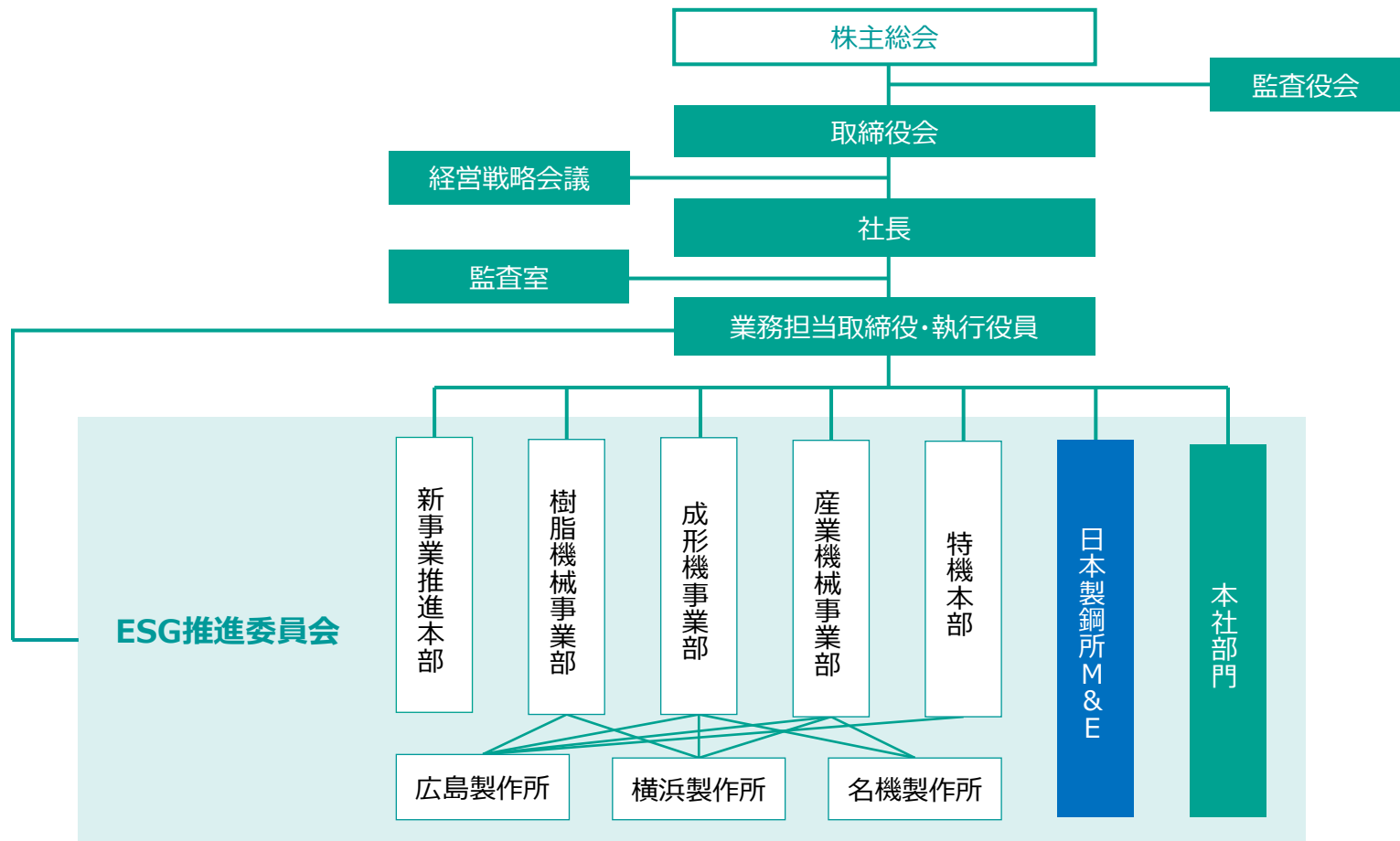
ESG経営の推進

PART IV



ESG推進委員会の新設（2021年4月～）

組織横断的な委員会を設置し、ESG活動を効果的に推進





環境に配慮した事業活動の展開

- CO₂排出量の削減
- 省資源・リサイクルの推進（環境負荷の低減）
- **カーボンニュートラル関連製品、
環境に優しい製品への取組み強化**
 - ① プラスチック資源循環のための樹脂機械関連製品
 - ② 水素エネルギー利用のための関連部材・システム
 - ③ CO₂削減のためのエネルギー関連製品

Environment (環境) これまでの取り組みと今後

1990

2000

2010

2020

MH:水素吸蔵合金
CF:炭素繊維
CeNF:セルロースナノファイバー

水素関連製品

水素関連技術
基礎研究

発電機用
水素純度向上装置

MH冷凍システム

水素吸蔵合金
燃料電池用システム

水素蓄圧器

低コスト
水素蓄圧器

大型MHタンク

今後の方向性

- 複合容器 (ステーション用、車載用)
- 発電所向け大型水素貯蔵容器
- 水素ステーション建設

成形機

全電動射出成形機 / 省エネ

ガソリンタンク用ブロー成形機 / 軽量化

マグネシウム射出成形機 / 軽量化・リサイクル

微細発泡射出成形機 / 軽量化・減量

今後の方向性

- 高リサイクル比率材対応 / 環境負荷低減
- 生分解プラ対応 / 環境負荷低減・省エネ
- 電力平準化搭載成形機 / 省エネ
- CF/CeNF対応技術の開発 / 軽量化・環境負荷低減

押出機

生分解プラ用二軸押出機 / 環境負荷低減

木質バイオマス複合材用二軸押出機 / プラ焼却性向上・低温混練

CeNF複合材用二軸押出機
/ 高強度・軽量化・減量

揮発性有機化合物低減二軸
押出機 / 低臭気・脱揮

今後の方向性

- バイオマスベース代替石炭用二軸押出機 / 脱石炭
- 自動運転二軸押出機 / 省人化・リモート



持続的成長に資する人材基盤の構築

「働き方」重視から
「働きがい」重視への取り組み

安全文化の深化

次世代リーダーの育成

人材の多様性確保

活気にあふれ、
従業員がワクワクする職場

従業員に優しい職場

人材面での競争優位性確保

取り組み

効果

企業価値向上のため、
資本コストをより意識した経営の実践

1

4象限フレーム
ワークによる事
業ポートフォリ
オ評価の実施

2

事業撤退基準
の制定・運用

3

投資採択基準
の高度化

成長性と資本収益性の確保



JSW

THE JAPAN STEEL WORKS, LTD.

